

平成 2 8 年度宮崎県計画に関する 事後評価

**令和 4 年 1 1 月
宮崎県**

3. 事業の実施状況

平成28年度宮崎県計画に規定した事業について、令和3年度終了時における事業の実施状況を記載。

事業の区分	1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業																																																																																																
事業名	【NO. 1】 病床機能等分化・連携促進基盤整備事業	【総事業費】 293,451千円																																																																																															
事業の対象となる区域	県全体																																																																																																
事業の実施主体	医療機関																																																																																																
事業の期間	平成28年8月10日～平成29年3月31日、平成31年4月1日～令和5年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了																																																																																																
背景にある医療・介護ニーズ	<p>人口減少や高齢化が進み、今後必要となる病床機能に変化が生じることから、医療機関においては、必要となる病床機能に対応するための施設・設備の整備等が必要となっている。</p> <p>また、将来の地域にふさわしい医療体制を構築していくことが課題となっており、当該課題を解決するためには、県内の医療資源の現状を正確に把握することが必要である。</p> <p>アウトカム指標： 宮崎県地域医療構想の必要病床数と病床機能報告の病床数との比較において不足する病床機能の充足</p>																																																																																																
	区域名	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2014年度 病床機能報告値</th> <th>2025年 必要病床数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">宮崎 東諸県</td> <td>高度急性期</td> <td>734床</td> <td>高度急性期</td> <td>557.7床</td> </tr> <tr> <td>急性期</td> <td>3,131床</td> <td>急性期</td> <td>1,601.9床</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td>604床</td> <td>回復期</td> <td>1,323.8床</td> </tr> <tr> <td>慢性期</td> <td>1,355床</td> <td>慢性期</td> <td>961.4床</td> </tr> <tr> <td>(無回答)</td> <td>142床</td> <td>計</td> <td>4,444.8床</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5,966床</td> <td>※在宅医療等の必要量(医療需要)</td> <td>6,523.8人/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">都城 北諸県</td> <td>高度急性期</td> <td>12床</td> <td>高度急性期</td> <td>217.6床</td> </tr> <tr> <td>急性期</td> <td>1,871床</td> <td>急性期</td> <td>675.8床</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td>276床</td> <td>回復期</td> <td>739.2床</td> </tr> <tr> <td>慢性期</td> <td>516床</td> <td>慢性期</td> <td>278.4床</td> </tr> <tr> <td>(無回答)</td> <td>92床</td> <td>計</td> <td>1,911.0床</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,767床</td> <td>※在宅医療等の必要量(医療需要)</td> <td>2,184.4人/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">延岡 西臼杵</td> <td>高度急性期</td> <td>42床</td> <td>高度急性期</td> <td>107.8床</td> </tr> <tr> <td>急性期</td> <td>1,120床</td> <td>急性期</td> <td>418.0床</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td>170床</td> <td>回復期</td> <td>521.7床</td> </tr> <tr> <td>慢性期</td> <td>403床</td> <td>慢性期</td> <td>309.0床</td> </tr> <tr> <td>(無回答)</td> <td>50床</td> <td>計</td> <td>1,356.5床</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,785床</td> <td>※在宅医療等の必要量(医療需要)</td> <td>2,033.5人/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">日南 串間</td> <td>高度急性期</td> <td>0床</td> <td>高度急性期</td> <td>36.7床</td> </tr> <tr> <td>急性期</td> <td>707床</td> <td>急性期</td> <td>164.4床</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td>68床</td> <td>回復期</td> <td>269.5床</td> </tr> <tr> <td>慢性期</td> <td>528床</td> <td>慢性期</td> <td>406.1床</td> </tr> </tbody> </table>		2014年度 病床機能報告値	2025年 必要病床数	宮崎 東諸県	高度急性期	734床	高度急性期	557.7床	急性期	3,131床	急性期	1,601.9床	回復期	604床	回復期	1,323.8床	慢性期	1,355床	慢性期	961.4床	(無回答)	142床	計	4,444.8床	計	5,966床	※在宅医療等の必要量(医療需要)	6,523.8人/日	都城 北諸県	高度急性期	12床	高度急性期	217.6床	急性期	1,871床	急性期	675.8床	回復期	276床	回復期	739.2床	慢性期	516床	慢性期	278.4床	(無回答)	92床	計	1,911.0床	計	2,767床	※在宅医療等の必要量(医療需要)	2,184.4人/日	延岡 西臼杵	高度急性期	42床	高度急性期	107.8床	急性期	1,120床	急性期	418.0床	回復期	170床	回復期	521.7床	慢性期	403床	慢性期	309.0床	(無回答)	50床	計	1,356.5床	計	1,785床	※在宅医療等の必要量(医療需要)	2,033.5人/日	日南 串間	高度急性期	0床	高度急性期	36.7床	急性期	707床	急性期	164.4床	回復期	68床	回復期	269.5床	慢性期	528床	慢性期	406.1床
		2014年度 病床機能報告値	2025年 必要病床数																																																																																														
	宮崎 東諸県	高度急性期	734床	高度急性期	557.7床																																																																																												
		急性期	3,131床	急性期	1,601.9床																																																																																												
回復期		604床	回復期	1,323.8床																																																																																													
慢性期		1,355床	慢性期	961.4床																																																																																													
(無回答)		142床	計	4,444.8床																																																																																													
計	5,966床	※在宅医療等の必要量(医療需要)	6,523.8人/日																																																																																														
都城 北諸県	高度急性期	12床	高度急性期	217.6床																																																																																													
	急性期	1,871床	急性期	675.8床																																																																																													
	回復期	276床	回復期	739.2床																																																																																													
	慢性期	516床	慢性期	278.4床																																																																																													
	(無回答)	92床	計	1,911.0床																																																																																													
計	2,767床	※在宅医療等の必要量(医療需要)	2,184.4人/日																																																																																														
延岡 西臼杵	高度急性期	42床	高度急性期	107.8床																																																																																													
	急性期	1,120床	急性期	418.0床																																																																																													
	回復期	170床	回復期	521.7床																																																																																													
	慢性期	403床	慢性期	309.0床																																																																																													
	(無回答)	50床	計	1,356.5床																																																																																													
計	1,785床	※在宅医療等の必要量(医療需要)	2,033.5人/日																																																																																														
日南 串間	高度急性期	0床	高度急性期	36.7床																																																																																													
	急性期	707床	急性期	164.4床																																																																																													
	回復期	68床	回復期	269.5床																																																																																													
	慢性期	528床	慢性期	406.1床																																																																																													

	(無回答) 0床 計 1,303床	計 876.7床 ※在宅医療等の必要量(医療需要) 854.9人/日					
西諸	高度急性期 0床 急性期 566床 回復期 171床 慢性期 350床 (無回答) 0床 計 1,087床	高度急性期 26.6床 急性期 163.6床 回復期 398.1床 慢性期 206.0床 計 794.3床 ※在宅医療等の必要量(医療需要) 1,279.6人/日					
西都 児湯	高度急性期 0床 急性期 530床 回復期 107床 慢性期 433床 (無回答) 100床 計 1,170床	高度急性期 17.2床 急性期 151.4床 回復期 415.1床 慢性期 324.0床 計 907.7床 ※在宅医療等の必要量(医療需要) 1,183.7人/日					
日向 入郷	高度急性期 0床 急性期 609床 回復期 108床 慢性期 326床 (無回答) 42床 計 1,085床	高度急性期 35.1床 急性期 180.3床 回復期 349.0床 慢性期 180.7床 計 745.1床 ※在宅医療等の必要量 844.6人/日					
事業の内容 (当初計画)	①急性期から回復期への機能転換等を図る医療機関の施設・設備整備費用の一部を補助し、地域における医療機能の分化・連携等を促進する。 ②県内の医療資源の情報を収集し、データベースを構築して、それをもとに医療機能の分析を行う事業を支援する。						
アウトプット 指標 (当初の目標値)	①急性期から回復期への機能転換等を図るために医療機関の施設・設備を整備。 ・施設整備医療機関数 5施設 ・設備整備医療機関数 3施設 ②県内の医療資源に係るデータベースの構築 60施設分						
アウトプット 指標 (達成値)	①・施設整備医療機関数 1施設 ・設備整備医療機関数 4施設 ② 県内の医療資源に係るデータベースの構築 延べ330施設分						
事業の有効性・ 効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：						
	病床機能	2016 (a)	2017	2019	2020	2021 (b)	増減 (b-a)
	高度急性期	780	797	845	773	795	+15
	急性期	8,270	8,107	7,484	7,185	7,435	-835
	回復期	1,855	1,971	2,165	2,225	2,235	+380
	慢性期	4,200	4,073	3,462	3,944	3,477	-723

	<p>(1) 事業の有効性 将来地域において必要となる医療機能を各医療機関が有するための整備費用を支援するものであり、地域医療構想の達成に向けた医療機能の分化・連携を図ることができる。</p> <p>(2) 事業の効率性 事前調査によりニーズを把握した上で、申請のあったもののうち、書面ヒアリング等により効果が高いと判断するとともに、地域において真に必要なかを判断するため、地域医療構想調整会議で合意を得た事業に補助したため、効率的に執行できたと考える。</p>
その他	<p>総事業費</p> <p>H28: 190,207千円 (基金15,200千円-140千円、その他175,147千円)</p> <p>R01: 92,865千円 (基金11,169千円、その他 81,696千円)</p> <p>R02: 5,855千円 (基金 2,927千円、その他 2,928千円)</p> <p>R03: 4,524千円 (基金 2,238千円、その他 2,286千円)</p>

事業の区分	1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業	
事業名	【NO.6】 がん医療均てん化推進事業	【総事業費】 400,407千円
事業の対象となる区域	延岡西臼杵、日向入郷、日南串間医療圏	
事業の実施主体	関係医療機関	
事業の期間	平成28年8月10日～平成30年3月31日、平成31年4月1日～令和7年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	<p>医療施設や医療従事者の不足・偏在などにより構想区域内で完結することが難しいがんについて、適切な医療が供給できるよう提供体制の強化が必要である。また、それにより、将来の病床の機能区分ごとの必要病床数の達成に向けて、次第に収れんを促していく必要がある。</p> <p>アウトカム指標： がん医療圏ごとにごがん医療の中心的役割を担う医療機関の設置及びがん医療提供体制の充実を目指す（2医療圏→4医療圏）</p>	
事業の内容(当初計画)	がん診療連携拠点病院等（以下、「拠点病院等」という。）のないがん医療圏においてがん医療の中心的な役割を果たす医療機関に対し、専門的ながん医療を提供するのに必要な医療機器及び施設の整備を支援する。	
アウトプット指標 (当初の目標値)	専門的ながん医療の提供に必要な医療機器及び施設整備医療機関数 延べ6医療機関	
アウトプット指標 (達成値)	専門的ながん医療の提供に必要な医療機器及び施設整備医療機関数 延べ6医療機関	
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後1年以内のアウトカム指標： がん医療の中心的役割を担う医療機関が設置されている医療圏数 4医療圏(R1)</p> <p>(1) 事業の有効性 国の定めるがん診療連携拠点病院等の整備に関する指針において、都道府県はがん医療圏ごとに拠点病院等を整備することとされているが、本県の県南及び県北がん医療圏においては、拠点病院等が整備されていない。 本事業により、県南及び県北がん医療圏においてがん医療の中心的な役割を担う医療機関に対し、専門的ながん医療を提供するのに必要な医療機器及び施設の整備の支援を実施することにより、拠点病院等が整備されていない医療圏においても、拠点病院等が整備されているがん医療圏とできる限り同等のがん医療が提供できる体制が整備・強化され、県内におけるがん医療の質の均てん化が図られている。</p> <p>(2) 事業の効率性 本事業の実施主体となり得るのは、「拠点病院等が整備されていないがん医療圏において、当該がん医療圏におけるがん医療の中心的な役割を担うと知事が認めるもの」であり、さらに、「本事業の実施を契機として国の指定を受ける要件を満たすことが見込め、かつ、指定を受ける意思があるもの」となっており、県内におけるがん医療の質の均てん化を図り、県民が等しく安全で質の高いがん医療を受けられる体制を整備するという本事業の目的を達成するために、支援することが効果的な医療機関を対象として実施したことから、効率的に執行できたと考える。</p>	
その他	総事業費 H29： 54,910千円（基金27,455千円、その他27,455千円）	

	R01 : 129,600千円 (基金30,000千円、その他99,600千円)
	R02 : 107,019千円 (基金53,509千円、その他53,510千円)
	R03 : 108,878千円 (基金49,981千円、その他58,897千円)

事業の区分	3. 介護施設等の整備に関する事業																				
事業名	【No.1 (介護分)】 宮崎県介護施設等整備事業	【総事業費】 278,071 千円																			
事業の対象区域	宮崎東諸県、日南串間、都城北諸県、西都児湯、日向入郷																				
事業の実施主体	市町村、社会福祉法人																				
事業の期間	平成28年4月1日～令和4年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了																				
背景にある医療・介護ニーズ	地域包括ケアシステムの構築に向けて、各地域の実情に応じた介護サービス提供体制の整備促進を図る必要がある。																				
	アウトカム指標：地域密着型サービス施設等の定員・宿泊定員数の増により介護サービス提供体制の充実・強化を図る。																				
事業の内容（当初計画）	①地域密着型サービス施設等の整備に対する助成を行う。																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">整備予定施設等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">【宮崎東諸県】</td> </tr> <tr> <td>○宮崎市</td> <td>以下3施設で定員・宿泊定員 計45床(計5カ所) 認知症高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護事業所、 看護小規模多機能型居宅介護事業所</td> </tr> <tr> <td>○国富町</td> <td>認知症高齢者グループホーム 9床(1カ所)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">【日南串間】</td> </tr> <tr> <td>○日南市</td> <td>認知症高齢者グループホーム 9床(1カ所) 小規模多機能型居宅介護事業所 9床(1カ所) 認知症対応型デイサービスセンター 1カ所</td> </tr> <tr> <td colspan="2">【都城北諸県】</td> </tr> <tr> <td>○都城市</td> <td>小規模多機能型居宅介護事業所 18床(2カ所)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">【西都児湯】</td> </tr> <tr> <td>○都農町</td> <td>認知症高齢者グループホーム 9床(1カ所)</td> </tr> </tbody> </table>		整備予定施設等		【宮崎東諸県】		○宮崎市	以下3施設で定員・宿泊定員 計45床(計5カ所) 認知症高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護事業所、 看護小規模多機能型居宅介護事業所	○国富町	認知症高齢者グループホーム 9床(1カ所)	【日南串間】		○日南市	認知症高齢者グループホーム 9床(1カ所) 小規模多機能型居宅介護事業所 9床(1カ所) 認知症対応型デイサービスセンター 1カ所	【都城北諸県】		○都城市	小規模多機能型居宅介護事業所 18床(2カ所)	【西都児湯】		○都農町
整備予定施設等																					
【宮崎東諸県】																					
○宮崎市	以下3施設で定員・宿泊定員 計45床(計5カ所) 認知症高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護事業所、 看護小規模多機能型居宅介護事業所																				
○国富町	認知症高齢者グループホーム 9床(1カ所)																				
【日南串間】																					
○日南市	認知症高齢者グループホーム 9床(1カ所) 小規模多機能型居宅介護事業所 9床(1カ所) 認知症対応型デイサービスセンター 1カ所																				
【都城北諸県】																					
○都城市	小規模多機能型居宅介護事業所 18床(2カ所)																				
【西都児湯】																					
○都農町	認知症高齢者グループホーム 9床(1カ所)																				
事業の内容（当初計画）	③ 介護施設等の開設・設置に必要な準備経費に対して支援を行う。																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">整備予定施設等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">【宮崎東諸県】</td> </tr> <tr> <td>○国富町</td> <td>認知症高齢者グループホーム 2床(1カ所)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">【日南串間】</td> </tr> <tr> <td>○日南市</td> <td>小規模多機能型居宅介護事業所 9床(1カ所)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">【日向入郷】</td> </tr> <tr> <td>○椎葉村</td> <td>特別養護老人ホーム 10床(1カ所)</td> </tr> </tbody> </table>		整備予定施設等		【宮崎東諸県】		○国富町	認知症高齢者グループホーム 2床(1カ所)	【日南串間】		○日南市	小規模多機能型居宅介護事業所 9床(1カ所)	【日向入郷】		○椎葉村	特別養護老人ホーム 10床(1カ所)					
整備予定施設等																					
【宮崎東諸県】																					
○国富町	認知症高齢者グループホーム 2床(1カ所)																				
【日南串間】																					
○日南市	小規模多機能型居宅介護事業所 9床(1カ所)																				
【日向入郷】																					
○椎葉村	特別養護老人ホーム 10床(1カ所)																				

<p>アウトプット指標 (当初の目標値)</p>	<p>地域包括ケアシステムの構築に向けて、第六期介護保険事業支援計画等において予定している地域密着型サービス施設等の整備等を支援する。</p> <p>【第六期介護保険事業支援計画／計画策定時 → 28年度末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特別養護老人ホーム 5,672床(102カ所) → 5,844床(104カ所) ○認知症対応型デイサービス 39,900回/年 → 46,572回/年 ○認知症高齢者グループホーム 27,096人/年 → 29,208人/年 ○小規模多機能型居宅介護 10,620人/年 → 15,324人/年 ○看護小規模多機能型居宅介護 420人/年 → 864人/年
<p>アウトプット指標 (達成値)</p>	<p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特別養護老人ホーム 5,736床(101カ所) → 5,775床(102カ所) ○認知症対応型デイサービス 31カ所 → 38カ所 ○認知症高齢者グループホーム 2,447床(182カ所) → 2,494床(185カ所) ○(看護)小規模多機能型居宅介護 63カ所 → 64カ所 <p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特別養護老人ホーム 5,775床(102カ所) → 5,918床(103カ所) ○認知症対応型デイサービス 38カ所 → 38カ所 ○認知症高齢者グループホーム 2,494床(185カ所) → 2,512床(188カ所) ○(看護)小規模多機能型居宅介護 63カ所 → 64カ所 <p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特別養護老人ホーム 5,918床(103カ所) → 5,931床(103カ所) ○認知症対応型デイサービス 38カ所 → 32カ所 ○認知症高齢者グループホーム 2,512床(188カ所) → 2,482床(184カ所) ○(看護)小規模多機能型居宅介護 64カ所 → 64カ所 <p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ゾーニング環境等の整備 33カ所
<p>事業の有効性・効率性</p>	<p>事業終了後1年以内のアウトカム指標 事業実施状況等を踏まえ、当計画の見直しを行い、事業を継続しているため、現段階では観察できない。</p> <p>(1) 事業の有効性 地域密着型サービス施設等の整備により高齢者が地域において安心して生活できる体制整備が進んでいる。</p> <p>(2) 事業の効率性 実施主体と密に情報共有しながら調達方法や手続き等について一定の共通認識のもとで施設整備等を行い、調達の効率化が図られた。</p>
	<p>事業実施状況等を踏まえ、助成対象を改めて精査し、当計画の見直しを行い、地域の実情に応じた介護サービス提供体制の整備を促進していく。</p> <p>総事業費 H28:151,099千円、H30:32,000千円、R3:94,972千円</p>

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【No.31】 労働環境改善に向けた介護ロボット導入支援事業（導入支援）	【総事業費】 12,182千円
事業の対象となる区域	県全体	
事業の実施主体	宮崎県	
事業の期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	介護人材を確保するためには介護サービス事業者に対し、介護ロボットの導入や、体力に不安のある女性介護職員等も継続して就労しやすい環境整備を支援する必要がある。	
	アウトカム指標：介護ロボット導入事業所数の増	
事業の内容(当初計画)	県内の介護サービス事業者が行う介護ロボットの導入や通信環境整備を支援する。	
アウトプット指標(当初の目標値)	県内の特別養護老人ホームのうち、何らかの介護ロボットを導入している施設の割合 100% (令和4年度)	
アウトプット指標(達成値)	補助事業所数 80事業所	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：補助事業所数 80事業所	
	<p>(1) 事業の有効性 センサーマットの導入により、利用者の離床状況が早期に把握できることにより、支援のタイミングが効果的に対応できるようになった。また、移乗サポートの介護ロボットの導入により、介護職員の腰痛予防だけでなく、転倒のリスクの減少にもつながった。 それらによって、介護職員の身体的な負担の軽減や、業務の効率化につながった。</p> <p>(2) 事業の効率性 県ホームページで周知するとともに、介護保険事業所に直接メールで案内し、効率的に周知を行った。</p>	
その他	R3実績：H28 基金分(12,182千円)+H29 基金分(3,506千円)+H30 基金分(19,483千円)+R1 基金分(16,644千円)+R2 基金分(27,332千円)+R3 基金分(11,601千円)=90,748千円	